

早急に財政計画の見直しをすべき

市長／今年度中に計画の見直しを行う。



柴田 恭成 議員

今後の行財政運営について

議員 歳入では、人口減少に伴う税収減や、地方交付税の減額、合併特例債や合併算定替えの終了など財源の縮小、一方歳出では、社会保障関係費、老朽化した公共施設や、インフラの維持管理や公債費など、経常経費の増加が避けられず、厳しい財政運営を強いられると思うが、今後の財政運営をどのように捉え、持続可能な行財政運営実現への考え方について伺う。

市長 合併算定替えの段

階的な縮減が始まっており、厳しい財政状況が続くものと捉えており、今後は、限られた一般財源が減少していくことから、経常経費の更なる縮減や、事務事業の見直しなど、歳入歳出全般にわたって見直しを行い、行財政改革を進め、安定的かつ健全な財政基盤を確立し、維持していくことが重要であると考えている。

議員 合併特例債や、過疎債の取り組みと考え方について伺う。

市長 合併特例債や過疎債は、有利な財源ではあるが借金であり、国や県補助事業を優先して活用した上で、合併特例債などを活用していくことを基本として、必要な事業に取組みたいと考えている。

住民と一体となった協働のまちづくりについて

議員 即応性のあるサービスが求められているなか、各分野や地域に於いて、きめ細やかな対応を可能とするのが協働だと思いが、如何お考えか。



多面的機能支払交付金制度の中の資源向上活動(共同)の一環

市長 私も、市民とともにきめ細やかな対応を可能とするのが協働と考えており、まちづくりには、自治会活動の活性化が重要で、自治会活動に対する支援のほか、地区集会施設などの整備に対しても支援を行っていく。

議員 世界遺産は、歴史的価値を末永く伝えることや、文化財を大切にすることを養う事が大切だと思う。これからの担っていく子供たちに、価値や資産について学習を進めることについては、どのように考えているのか。

教育長 世界遺産決定後の校長会などの中で、世界遺産に関連する学習を進めてほしいと、お願いしたところである。

その他の質問
・多面的機能支払交付金制度について

有馬干拓の排水問題、早急な対策を

市長／市単独でも早急な対策を考えたい。



黒岩 英雄 議員

有馬干拓の排水対策について

議員 豪雨や台風時などの際、干拓のため池に河川や市道、農道などの流末の排水機能が限界にきている、と言われている。その対策は。

市長 これまでも県に対して、排水機の改善策の要望を続けてきたところだが、県としては、現在実施している、県営海岸保全施設整備事業の終了を待って、本格的に検討したいとのことである。

議員 干拓の排水がため池に満杯になり、北岡地

区の民家まで水びたし状態になっていると通報があった。緊急な対策が要求されているが。

市長 早急な排水対策が必要なため、測量と調査に要する経費を計上している。

議員 市単独でも、早急な対策をお願いしたい。

市長 今後は、県に強く働きかけ、市の単独事業についても検討していきたい。

議員 鳥鉄跡地を利用して、有馬川へ排水路を作ることにも早急に考えてもらいたい。

農林水産部長 調査し、規模次第では県にお願いする。もしくは市の単独や両方を合わせてやることも検討していきたい。

議員 次に上げる事業の予算と完成時期についてお聞きしたい。



有馬干拓水門

- ⑤ 有馬小学校の建替え。**市長** ①世界遺産関連施設整備費1億1,000万円。平成32年度完成予定。
- ② 口ノ津港ターミナル建設と、その周辺整備としては、本体工事、駐車場、市道の改良を含めて約11億円、平成31年の供用開始予定。
- 教育長** ③有商跡地多目的広場の予算は、実施設計の段階であり未定。平成32年4月供用開始予定。
- ④ 給食センター設置は、概算額約21億円で、平成32年9月供用開始予定。
- ⑤ 有家小学校建替えについては概算で、約20億円と見込み、平成33年4月の供用開始で作業を進めている。